

平成30年度 岐阜県校友会総会・学術講演会

令和元年7月7日（日）七夕の日に、平成30年度岐阜県校友会総会ならびに学術講演会がホテルグランヴェール岐山において開催された。川合 昇 県校友会副会長（52回）の開会の挨拶で総会が始まり、大竹和行県校友会会長（52回）、近藤勝洪校友会会長、阿部義和岐阜県歯科医師会会長からご挨拶をいただいた。

引き続き、石原健太郎会員（86回）を議長に選出し、11月に亡くなられた森川 潤 会員（40回）への弔意黙祷を捧げ、その後、評議員報告を大竹会長、歯学会報告を大埜間 勉 県校友会理事（75回）、会務報告を萩谷勅信県校友会専務理事（79回）より行われた。

その後、議事として、平成30年度会計収支決算、田中 正 監事（55回）による監査報告、令和元年度

会費賦課徴収、令和元年度会計予算案が河村二郎県校友会常務理事（74回）より提出され、承認を得た。また、協議事項として令和元年度岐阜県校友会総会、役員改選について挙げられ協議を行い、最後に日比野好行県校友会常務理事（65回）の閉会の挨拶で滞りなく終了した。

総会後には大埜間理事を座長とし、北島佳代子新潟生命歯学部歯科保存学第1講座准教授（74回）による「高齢化社会に多発する狭窄根管へのアプローチ～進化した根管治療の現状～」と題して、学術講演が行われた。歯髓の特殊性等の基礎分野から最新の器具器材を使った狭窄根管へのアプローチ等の臨床分野まで分かりやすく講演され、随所に現在の学生実習のお話などをはさみ、楽しく有意義な内容で、会員も熱心に聴講していた。

学術講演会終了後、来賓の先生方と記念撮影を行い、宴会場へと場所を移し懇親会が開かれた。懇親会では近藤会長、阿部県歯会長、北島准教授にも加わっていただき、北村 裕 県校友会名誉会長（50回）の乾杯の発声により賑やかに始まり、参加者一同和やかに楽しい時間を過ごし、来年もまた皆で集まることを約束し、宴は終了した。

（太田泰之・79回記）



平成30年度岐阜県日本歯科大学校友会総会
令和元年7月7日 於 ホテルグランヴェール岐山